



成猫

妊娠・授乳期の母猫と仔猫の栄養



雌猫（母猫候補）が妊娠、出産、仔猫の離乳をうまく乗り切るには、最適な栄養が必要です。

母猫候補がやせ過ぎたり、太り過ぎたりすると、妊娠自体が難しくなる、仔猫の大きさが小さくなる、出産が困難になる、授乳量が減るなどの問題が生じ、仔猫の健康と成長に悪影響を及ぼす可能性があります。

母猫候補が発情期に必要なとする栄養要件は維持期の成猫と同様です。しかし、妊娠・授乳期には、母猫と仔猫の健康に影響する可能性のある特定の栄養要件があります。

キーメッセージ

母猫

交配前、発情期および交尾期の雌猫にどのような食餌をどう与えるか

- 適切な受胎、仔猫の適正な出生体重、仔猫の死亡率の低下には、雌猫が**交尾前**に理想的な体型（ボディコンディションスコア [BCS] 5/9）になっている必要があります。
- 母猫候補には、交配時または交配前に、消化が良く、高品質であり、栄養的に完全でバランスのとれた、成長期あるいは妊娠・授乳期向けに調整された（仔猫用または全ライフステージ対応用）フードに切り替える必要があります。
- 交配前にフードを切り替えると、次のようなメリットが得られます。
 - 卵の受精（受胎）および子宮内膜への受精卵の着床というきわめて重要な期間において、消化不良や摂食量の減少を防ぐ
 - 受胎率や妊娠初期の胎児の生存に悪影響を及ぼす可能性のある限界栄養貯蔵量を改善する
 - エネルギー摂取量を増やす
- フードを切り替える際には、消化不良を最小限に抑えるために、7日かけて新しいフードを少しずつ導入するようにします。
- 初期段階では、カロリーの過剰摂取を招かないように、摂食量を管理する必要があります。

(次のページに続く)

キーマッセージ (続き)

母猫 (続き)

妊娠中の母猫にどのような食餌をどう与えるか

- 63～65 日の妊娠期間中、健康な母猫は通常、徐々に体重が増えていきます。これは、犬とは異なる点です。
- 妊娠期間中は摂食量が若干増減することがあります。これは、妊娠に関連するホルモンの変化によるものです。しかし、仔猫を出産するまでに、母猫は維持期よりも 25～50% 多いカロリーを消費するはずで
- 成長と繁殖に適した高品質で、完全でバランスのとれた成分のフードは、必要な栄養素をすべて供給するため、補助食は必要ありません。
- 妊娠期が最後の 1/3 (第 3 期) に到達したら、1 日何回かに分けて給餌するか、母猫が自由に食べられる給餌方法にします。こうすることで、食餌や消化のための腹部の空間が狭くなってきても、母猫は十分に栄養を摂取できます。

授乳中の母猫にどのような食餌をどう与えるか

- 授乳期は、ライフステージの中で栄養が最も必要な時期です。カロリー (エネルギー) も栄養要件も、成長期に比べて高くなります。
- 授乳期の猫は、出産後 3～4 週間でピークを迎える産乳要求量に対応するために、消化が良く、高エネルギー・高栄養の食餌 (仔猫用または全ライフステージ対応用) が必要です。
- また、授乳する母猫は、産乳を助けるために十分な水分を摂取する必要があります。そのため、新鮮で清潔な水を簡単に摂取できるように用意することが重要です。また、水分摂取量を増やすには、ウェットフードで給餌することも有効です。
- 出産後 3～4 週間は、1 日に何回かに分けて給餌するか、母猫が自由に食べられる給餌方法にすると、授乳期のエネルギー要求量を満たすのに役立ちます。
 - 授乳中は、カロリー摂取量を増やしても母猫の体重は減少し続けます。離乳すると、交尾前の体重に戻るはずで
 - 仔猫が半固形食や固形食を食べ出すと、産乳量は減少し始めます。

離乳時および離乳後の母猫にどのような食餌をどう与えるか

- 仔猫が生後およそ 5～8 週間になると、母猫は自然と離乳を開始します。
- 離乳の 1～2 日前および離乳中に母猫への給餌量を制限すると、産乳量を減らすのに役立ちます。
- 離乳前日に、母猫と仔猫を分離します。産乳量をゆっくりと減らすために、母猫には新鮮な水のみを引き続き与え、給餌を一切停止します。その晩に母猫と仔猫をもう一度一緒にして、仔猫に授乳させます。
- 離乳当日は、母猫と仔猫を 1 日中分離します。
- 離乳当日には、交配前に与えていた種類のフードの約 25% 量を母猫に給餌します。その後 3 日間、母猫への給餌量が交配前の維持レベルの 100% に達するまで、徐々に給餌量を増やしていきます。

(次のページに続く)

キーメッセージ (続き)

仔猫

仔猫の授乳と離乳

- 分娩直後および6～8時間以内に、すべての仔猫に授乳する必要があります。これは、授乳時に産生される最初の「乳」である初乳に含まれる抗体を確実に移行させるためです。
- 母猫の乳は、仔猫に与える完全食であり、最初の数週間に仔猫が急速に成長するために必要なすべての栄養素を与えます。
- 生後およそ3週間で、仔猫は半固形食（ドライフードとぬるま湯を1:2の割合で混ぜたかゆ状の食餌）を開始できます。このときに使用するフードは、母猫が食べているのと同じものを使用します。
 - 仔猫が半固形食を食べることは、自然かつ段階的なプロセスです。授乳段階の一部であり、離乳プロセスの始まりです。
 - 誕生から5～6週間が経過したところで、かゆ状の食餌のフード：水の割合を2:1に変えることができます。
- 一般的に、仔猫が生後6～9週に達した段階で離乳が完了します。

その他のリソース

Case, L. P., Daristotle, L., Hayek, M. G., & Raasch, M. F. (2011). *Canine and feline nutrition: A resource for companion animal professionals* (3rd ed.). Mosby Elsevier.

Gross, K. L., Becvarova, I., & Debraekeleer, J. (2010). Feeding reproducing cats. In M. S. Hand, C. D. Thatcher, R. L. Remillard, P. Roudebush, & B. J. Novotny (Eds.), *Small Animal Clinical Nutrition* (5th ed., pp. 401–413). Mark Morris Institute.

Gross, K. L., Becvarova, I., & Debraekeleer, J. (2010). Feeding nursing and orphaned kittens from birth to weaning. In M. S. Hand, C. D. Thatcher, R. L. Remillard, P. Roudebush, & B. J. Novotny (Eds.), *Small Animal Clinical Nutrition* (5th ed., pp. 415–427). Mark Morris Institute.

Loveridge, G. G. (1985). Body weight changes and energy intake of cats during gestation and lactation. *Animal Technology: Journal of the Institute of Animal Technicians*, 37(1), 7–15.

Wichert, B., Schade, L., Gebert, S., Bucher, B., Zottmaier, B., Wenk, C., & Wanner, M. (2009). Energy and protein needs of cats for maintenance, gestation and lactation. *Journal of Feline Medicine and Surgery*, 11(10), 808–815. doi: 10.1016/j.jfms.2009.02.006

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。